

工業試験場 in 旭川

参加無料



道総研

2026

2.27

移動工業試験場

工業試験場が旭川にお伺いします。今回はIoT製品や食品加工機械などの開発支援拠点「寒冷地ものづくりラボのご紹介」と、工業分野で活用が進む「AM技術の基礎から研究成果まで」の2つのテーマをご用意しました。どうぞお気軽にご参加ください！

日時 令和8年2月27日（金）13:30～15:30
受付13:00～ ※片方のみの聴講も可、後半の受付は14:25～14:35

会場 旭川市工業技術センター 会議室



1

北海道の「電波暗室」と言えばココ！ 13:40～

寒冷地ものづくりラボのご紹介

工業試験場の寒冷地ものづくりラボ（MONOLABO - ものラボ）は、北海道初の認証登録電波暗室を含む4種類の試験設備を備えた複合試験施設です。本講演ではMONOLABOの施設紹介動画を交えながら説明するとともに、MONOLABOを使って開発した研究事例を紹介します。

- 工業試験場 産業システム部
情報システムG 主任主査 宮崎 俊之

MONOLABO
寒冷地ものづくりラボ

電波暗室・シールドルーム
EMC試験、道内初VCCI登録



設備使用(有料)でご利用いただけます

防水試験室
JIS C0920対応



低温試験室

+5～-20°C / -5～-30°C



2

話題のAM技術…その基礎から研究成果まで！ 14:35～

AM技術を利用した金属製品の高機能化技術

Additive Manufacturing(AM)は、国内では3Dプリントと呼ばれ、樹脂、金属、セラミックスなど様々な材料を積層することで3Dデータからモノを製造する技術です。最近では、様々な工業分野で採用が進み、今後の展開が期待される技術です。今回は、AM技術の基礎的な説明から金属材料を用いた当場の研究成果など幅広くご紹介します。

- 工業試験場 材料技術部
素形材技術G 主査 鈴木 逸人



設備使用(有料)でご利用いただけます



移動工業試験場(旭川) 参加申込方法

オンラインお申込

メールでのお申込

下記QRコードからお申し込みください。



<https://forms.gle/AUDzdheYjZpY66zs8>

件名を「移動工業試験場2月27日参加申込」として、企業名(団体名)・住所・電話番号・メールアドレス・参加者の所属・役職・氏名を記載の上、下記アドレス宛にお申し込みください。

iri-shien@ml.hro.or.jp

【お問い合わせ先】

(地独)北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センター 担当:赤坂

メール:iri-shien@ml.hro.or.jp

TEL:011-747-2346 FAX:011-726-4057

申込期限 令和8年2月25日(水)

会場へのアクセス

旭川市工業技術センター

旭川市工業団地3条2丁目1-18 TEL:0166-36-3111

【旭川駅から】

●車で25分 (約11km)

●旭川電気軌道バス

【41】【47】旭山・動物園線、旭山動物園方面行きで約30分、東旭川工業団地1条1丁目にて下車、徒歩約1.2km (約15分)

【予告】 2026年6月2日(火) ホテル札幌ガーデンパレス

工業試験場成果発表会

KO-SHI FORUM 2026

こんな技術が欲しかった！ が見つかる